みどりを育む
横造協だより

発　行　Vol.32
一般社団法人　横浜市造園協会
広報委員会
横浜市中区尾上町1-6　横浜関内ビル７階
TEL 045-662-9897　FAX 045-664-5633
http://www.yokohamashizoen.or.jp

はじめに

横浜市造園協会の皆様には日頃から、公園の整備や維持管理、横浜みどりアップ計画におけるいきいき街路樹事業、緑化の推進など、様々な場面で、本市の緑をつくり、育てる取組に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年も「よこはま花と緑のスプリングフェア」花壇展において、横浜市造園協会の皆様には、個性溢れる色とりどりの花壇を御出展いただきました。美しい花々が横浜の街の景観を鮮やかに彩り、訪れた多くのお客様に喜んでいただきました。心から感謝申し上げます。

また、横浜は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に緑の環境を有しています。市内には、実に2,600箇所を超える都市公園があり、市民の皆様に利用していただける市民の森などの樹林地も数多くあります。これらの身近な緑を安全で快適に楽しむことができるのも、横浜市造園協会の皆様による、現場での丁寧な整備や維持管理、さらには台風などの緊急時における迅速な対応があってこそです。

みどりアップ計画による樹林地の保全（恩田東部特別緑地保全地区）

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

横浜みどりアップ計画
（計画期間：平成26－30年度）

横浜市環境創造局
みどりアップ推進担当理事
毛涯（けがい） 清隆（きよたか）

横浜市は、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、平成18年に「横浜市水と緑の基本計画」を策定しました。そして、平成21年度からは、横浜みどり税を財源の一部に活用した重点的な取組として、「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」に取り組んできました。

25年度までの5か年では、緑地保全制度の大幅な指定推進による樹林地の減少傾向の鈍化や、保育園・小中学校の園庭・校庭の芝生化など身近な場所での緑化、地域と協働した緑のまちづくりの推進など、多くの方々の御理解と御協力により、取組を着実に進めることができました。

緑の保全・創造は、継続的に取り組むことが重要であることから、これまでの取組の成果や課題、市民意見募集の結果などを踏まえ、26年度から30年度に取り組む「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26－30年度）」を策定しました。

「横浜みどり税」も、26年度から30年度まで、引き続き市民の皆様に負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用します。今年度は、新たな5か年計画のスタートの年として、目標に向け精力的に取組を進めていきます。3本の取組の柱と合わせて、効果的な広報を展開していきますので、今後とも、より一層の御理解と御協力をお願いします。

取組の柱1
市民とともに次世代につなぐ森を育む

特別緑地保全地区などの、緑地保全制度の指定により、樹林地500ヘクタールを新規に保全するとともに、指定地での、法に基づく買入申出や、不測の事態により所有者から買取申出があった場合に対応します。5か年で108ヘクタールの買取りを予定しています。また、生物多様性、利用者の安全や快適性に配慮した森づくりを行うほか、市民が森に関わるきっかけを提供するイベントを180回開催します。

取組の柱2
市民が身近に農を感じる場をつくる

5か年で、水田125ヘクタールを、10年間の水稲作付を条件に奨励金を交付することにより保全します。また、市民が楽しめる農園を25.8ヘクタール開設するほか、市民や企業と連携した地産地消の展開も推進します。

取組の柱3
市民が実感できる緑をつくる

民有地における緑化の助成を65件行うほか、市民協働で地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現する「緑のまちづくり」を46地区で推進します。

また、都心臨海部での緑や花による賑わい創出も強化して実施します。

公園の整備

身近な公園から大規模な公園まで

公園は、子どもの遊び場、地域活動や健康づくりの場であることはもちろん、景観形成や生物多様性の保全、災害時の避難場所など、市民生活において大変重要な役割を担っています。本市では、小学校の通学範囲を単位として身近な公園の整備目標を定めており、不足している地域では引き続き、新設整備に努めていきます。

また、公園の機能を十分に発揮できるよう、老朽化した公園の再整備・改修を計画的に進めていきます。

大規模な公園の新設整備も、具体的に進めています。（仮称）小柴貯油施設跡地公園については、市民の皆様からのご意見をふまえ、本年8月に基本計画を策定しました。環境影響評価の後、整備を進めていきます。

（仮称）鶴見花月園公園や、（仮称）舞岡町公園については、地域の方々をはじめ、広く市民の皆様のご意見をお聞きしながら整備内容を検討し、できるだけ早期に市民の皆様が利用できるよう事業を進めます。

都心臨海部の緑花による賑わいづくり（グランモール公園）

多くの皆様に御尽力をいただいて整備してきた、よこはま動物園ズーラシアについては、最後のエリアである、東アフリカの広大な草原を再現した「アフリカのサバンナ」をいよいよ27年春に全面オープンします。

全国都市緑化フェア

全国都市緑化フェアの開催は、横浜らしさあふれる花と緑で多くのお客様をお迎えし、都市の魅力を広く発信していく絶好の機会であるとともに、花と緑が身近に感じられる豊かなライフスタイルの定着につながるものです。

各種イベントと連携しながら効果的な事業展開を行い、花と緑に彩られた美しい街の魅力を、新たなブランドイメージとして広く内外にプロモーションしていきます。

平成29年春の開催について、国土交通大臣の同意を得られるよう、現在、有識者による懇談会の開催をはじめ、市会、関係団体の皆様のご意見を伺いながら、基本構想の策定を進めています。

おわりに

本市のみどり行政は、「横浜みどりアップ計画」の新たな5か年のスタート。全国都市緑化フェアの横浜開催に向けた準備、大規模な公園整備事業の推進など、大変重要な局面を迎えています。

これまで以上に取組を強化し、「緑豊かなまち横浜」を確実に次世代に引き継いでいくためには、横浜市造園協会の皆様が長年にわたって培ってきた技術力と豊富な経験が不可欠です。ご一緒に横浜の緑を守り、つくり、育てることに、存分に力を発揮してくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

■■ 略歴 ■■

昭和31年　長野県生まれ
昭和53年　東京農業大学農学部卒業
昭和53年　横浜市入庁
緑政局緑化推進課
　公共緑化係長
　緑政課緑地保全係長
　農政課長
　緑化推進課長
環境創造局用地調整課長
みどりアップ推進課
　担当課長
みどりアップ推進部長　等
平成26年4月
環境創造局
みどりアップ推進担当理事

第37回 通常総会を開催

「ハマの緑を育むつどい」を開く

5月30日ホテル横浜ガーデンにおいて第37回通常総会を開催した。議案について審議し、いずれも原案通りに承認された。

第1号議案
平成25年度事業報告(案)の件
第2号議案
平成25年度決算報告(案)の件
《報告事項》
第1号議案
平成25年度公益目的支出計画実施報告書の件
第2号議案
平成26年度事業計画の件
第3号議案
平成26年度収支予算の件

総会終了後、ご来賓をお迎えして「ハマの緑を育むつどい」を開催した。

懇親を深める参会者の皆様

仕事を創出する努力も大切

横浜市造園協会会長　**生駒　隆一**

我々造園業界を取り巻く環境は、安倍政権による経済対策や金融政策などにより、景気回復に向けた動きが強まってまいりました。

建設産業においても受注環境が穏やかな回復基調を見せてきております。一方で労働需給の不安定、資材価格の上昇などが顕在化し、楽観は出来ない状況にあります。

こうしたなか、市民の皆様には緑化、環境保全、防災など生活の安全、安心を求める声がより強くなり、我々業界団体に対する期待も高まってきております。

みどり税の継続により横浜の大切な緑の整備保全など、地域社会からのニーズを積極的に収集して、自らの仕事を創出する努力を怠ってはなりません。

平成29年度には横浜で全国都市緑化フェアの開催が予定されております。このような行事、期待に応えるため造園協会は会員の経営力、技術力の資質向上のため研修会や技術講習、安全パトロールの実施など積極的に取り組んでまいります。

緑を実感できる環境を

横浜市副市長　**鈴木　伸哉**

日頃から生駒会長はじめ会員の皆様方には、横浜市政、特に緑施策の推進について本当にご支援を賜りまして、ありがとうございます。

26年度も、経済の活性化、市民生活の安心・安定に向けまして、公園の整備や管理をはじめとする緑の施策で、前年度とほぼ同水準の形で執行できるように、予算を計上いたしました。今後中小企業振興の基本条例の趣旨に添いまして、できるだけ早い段階で発注ができますように、我々も取り組んでいきたいと思っております。

26年度はいろいろな話題がございます。先ほど会長からもご紹介がありました「横浜みどりアップ計画」も、新しい年次を迎えそのスタートの年ということになります。次世代につなぐ緑を育む、あるいは身近な所で農を感じられる場をつくる、あるいは緑を実感できる環境をつくっていく、そのようなことを中心に据えながら、みどり税を有効に活用しながら施策を進めてまいりたいと考えております。

さらに公園整備については、大規模公園の整備に具体的に取り組んでいく状況になってまいりました。鶴見の花月園競輪場の跡地、あるいは金沢の旧小柴貯油施設など、皆さんのお力添えをいただきながらしっかりと対応していきたいと思っております。

そしてもう一つ。全国都市緑化フェアは多くのお客様に横浜の魅力をアピールする絶好の機会だと思っています。本日「全国都市緑化しずおかフェア」に行ってまいりました。やはり緑、花に対する国民の皆様の関心も高まっております。やはり横浜はもっと頑張らないといけない、横浜らしさというものをこのフェアを通じてしっかり発信していかなければいけない、と思ったところでございます。

その為にもぜひ、計画から実施に向けまして、皆様方のお力をいただきながら、一緒になって取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

平成26年度 労働安全衛生大会を開催

7月3日ホテル横浜ガーデンにおいて、横浜南労働基準監督署署長、横浜市環境創造局長はじめ道路局幹部、各区土木事務所長をご来賓に「平成26年度労働安全衛生大会」を開催した。

本年度も労働災害ゼロを目指して安全標語入選者表彰、優良現場表彰、安全宣言を行い、安食基準監督署長に災害事例のご講演、大塚製薬㈱神田悠司様に全対策講習「熱中症からカラダを守ろう」、環境創造局技術監理課に事故事例報告等を行った。

安全標語講評

今年度の安全標語は205通の応募がありました。これは応募されました会員の、日頃の安全意識の向上の表れと考えます。

最優秀賞に選ばれた㈱一造園土木・大野直樹さんの標語は、日常社員の方々が会社で行っている安全意識を素直な言葉で表現し、事業所が一体となって日頃の安全活動推進を行う「安全標語」だと評価されました。

また、優秀賞4名の方々の標語も、安全意識を広めて災害を未然に防ごうという、積極的な姿勢が高く評価されました。

これらの標語と共に、今年一年間労働安全衛生活動を推進してまいります。

入選標語

《最優秀賞》
一造園土木㈱　大野　直樹
見る目・気づく目・予知する目　危険要因見逃すな一人ひとりが、責任者

《優秀賞》
㈱きたむら園　佐々木　隆
すばやく摘み取れ「危険の芽」みんなで咲かそう「安全・職場」

篠原造園建設㈱　栃木　努
安全は　気に掛け　声掛け　心掛け

㈱みやした園芸　近藤　雄治
思いやり　つなぐ心で　安全意識

㈱田澤園　福尾　亮太
見逃すな　あなたの周りに隠れるリスク
みんなで築こうゼロ災害
あなたの努力で　ゼロ災害

優良現場表彰

㈱植勘
西区いきいき街路樹事業剪定委託業務（その一）

委託安全パトロールを実施

1. **目的**
更なる安全対策についての徹底を図るため、安全対策強化期間を設け、この期間に無告知でパトロールを行う。今回は特に現場の安全管理を中心に点検。
2. **実施日時**　7月29日（火）
3. **点検対象**　市内全域の委託現場
4. **参加者**　安全委員会(8名)、緑の諮問委員会（1名）
5. **概要**
（1）街路樹維持業務委託
《改善事項》
・業務看板が、トラックに積んだままだった。
・停車車両含む輪止め不設置。
・第三者に注意を払うために、歩道側の作業帯をカラーコーンバーで明示する。
《評価事項》
・熱中症対策グッズ・携行缶・消火器が配置してあり、夏作業仕様になっていた。
（2）公園維持業務委託
《改善事項》
・混合ガソリン用に携行缶を使用すること。
・輪止めがトラックに積んだまま不設置。
・肩掛け式刈り払い機にカバーが付いていなかった。
・消火器を常備する。
《評価事項》
・草刈り作業中ののぼり旗は、良く目立ち周囲に注意喚起が良く出来ていた。
・KY活動表をリスクアセスメントの利用で作成していた。

各社には改善報告書の提出をお願いした。

全国都市緑化よこはまフェア開催に向けて

横浜市環境創造局
みどりアップ推進部担当課長
（全国都市緑化フェア担当）
藤田 辰一郎

横浜市は、これまでも「緑の環境」を次世代に引き継いでいくため、「横浜市水と緑の基本計画」に基づき、都市公園の整備をはじめとした緑の取り組みを展開してきました。

平成21年度からは、さらに「緑豊かなまち横浜」を次世代に引き継いでいくため、市民の皆様にご負担いただいている、横浜みどり税を財源の一部に「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」を重点的な取組として進め、26年度からは、さらに課題や市民意見等を踏まえ、「みんなで育むみどり豊かな美しい街・横浜」を理念として、「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26－30年度）」に取り組んでいます。

全国都市緑化フェアは、この「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26－30年度）」に位置付けました、樹林地の保全や、都心臨海部の緑花による賑わいづくりをはじめ、緑の成果を多くの内外の皆様に見ていただき、横浜の魅力を発信していく絶好の機会であると考えております。

現在、平成29年春の開催を目指し、「横浜らしい」フェア開催に向けて準備を進めています。

全国都市緑化フェアとは

「全国都市緑化フェア」は、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することとしており、昭和58年から開催されてきました。

開催期間等は都市によって異なりますが、都市公園を主な会場とし、期間中の中心的行事として、皇室をお迎えして、「全国都市緑化祭」を一日行います。

皆様もご承知のとおり、今年の3月21日から6月15日にかけては、「浜名湖花博・再会」と題して、花博開催の10周年記念事業として、「しずおかフェア」が開催されました。

はままつフラワーパークと浜名湖ガーデンパークの2会場では、県民参加の花壇や企業の方々の出展花壇など、両会場とも色とりどりの春の花々で彩られ、県内外問わず多くの方々が訪れ、大盛況のうちに幕を閉じました。

27年の秋には、愛知県の愛・地球博記念公園におきまして、愛知万博の10周年記念事業として、「あいちフェア」が開催されます。

山下公園

横浜市の検討状況

横浜で開催する全国都市緑化フェアに向けましては、「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26－30年度）」における「都心臨海部の緑花による賑わいづくり」の推進により、観光資源となっている公園や港湾緑地などの公共施設を、季節感ある緑花の空間づくりで魅力を高めるとともに、都市公園の整備など、交通大臣の開催同意を得られるよう進めていきます。

さらに、会場整備と運営、市民と企業の方々との協働の取組などをまとめるべく「基本計画」の策定を、市民の方々のご意見も伺いながら進めていきます。また、27年度の実行委員会の設立及び関連整備に向けて取り組んでいきます。

今後の予定

現在、学識経験者・経済団体等の有識者による懇談会や関係団体の皆様のご意見を伺いながら、都市緑化フェアのテーマや会場設定、開催期間などをまとめた「基本構想」（案）を策定しており、本年度内に国土の協働による「美しい花と緑豊かな街」をつくる契機としたいと考えております。今後とも、多くの方々のご協力をいただきながら、横浜らしいフェア開催に向け準備を進めていきたいと思います。

全国都市緑化よこはまフェアの成功には、横浜市造園協会会員の皆様のご協力が不可欠です。皆様が長年培われた造園技術や緑の景観づくりのノウハウ、そして新たな緑花技術への挑戦も含めまして、幅広くご支援とご協力を賜りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

イギリス館

「郊外部での緑の取組」も含めた成果を発信していきたいと考えています。

緑や花で美しい街・横浜を内外にアピールし、さらに、緑と花が身近にある市民のライフスタイルを定着させ、横浜の新たなブランドイメージとしてプロモーションしていくことを目指します。

会場については、横浜の顔とも言える、都心臨海部の山下公園やグランモール公園等を中心に活用するとともに、横浜の魅力ある郊外部の緑を見ていただく会場として、ズーラシアのある「横浜動物の森公園」の植物公園予定地を候補としています。

おわりに

全国都市緑化よこはまフェアでは、一過性のイベントとして開催するのではなく、「訪れたいまち横浜」そして「誇れるまち横浜」に向け、市民・企業・行政進めています。

第31回全国都市緑化しずおかフェアを訪問

第31回全国都市緑化しずおかフェアが4月5日～6月15日まで、はままつフラワーパーク及び浜名湖ガーデンパークで開催された。

今回も自治体出展の花壇については横浜市から依頼を受け、会員から花壇のデザインを公募し、最優秀賞に選定された横浜緑地㈱が施工した。

また、4月17日に役員が現地視察・6月11日には技術委員会で公園施設見学研修会を開催した。

首相官邸を訪問

8月7日自民党横浜市会議員団に同行し首相官邸へ菅義偉内閣官房長官を訪問した。横浜での全国都市緑化フェア開催に向けて意気込みを伝えた。

公園緑地等における工事及び維持委託の安全講習会

「安全意識の向上」をテーマとして、若い現場代理人及び主任技術者等の方々を対象とした、安全活動の勉強会として講習会を開催した。

横浜市環境創造局及び道路局の技術監理課の方を講師としてお迎えし、事故事例等を含む講演をいただいた。また、わかりやすいDVDによる安全活動や、安全委員によるパトロール時のチェックポイントの説明を行った。

「ごあいさつ」
環境創造局政策調整部
技術監理課担当課長
本多啓一様

「事故事例解説等」
環境創造局政策調整部
技術監理課
肥後雄次様
道路局計画調整部
技術監理課
和田茂様

「ビデオ」
新人中村君の一日
「安全パトロール点検表について（委託・工事）」
根岸安全委員

横浜市造園技術交流会

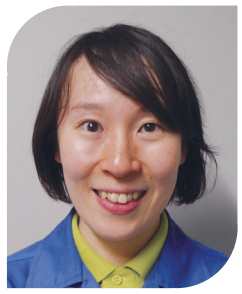
「公園施設見学研修会」
開催日　5月29日（木）
参加者　当協会　55名
横浜市造園技術交流会　3名

◇箇所
①小田原フラワーガーデン
②県立大磯城山公園
（旧三井別邸、旧吉田茂邸地区）
③みなとみらい21新港地区
8街区緑化整備

旧吉田茂邸地区

樹木に魅せられて（第27回）

横浜市環境創造局公園緑地部
公園緑地整備課
伊藤 香織



私が造園の世界に興味を持ったのは、高校生のとき。自分が遊ぶ場所を自分でつくれるなんて面白そう！という単純な思いが、私を造園の世界へ導きました。

新港中央広場（春）

公園の裏方から

地元横浜市に採用され、初めて配属されたのは、子どもの頃に親しんだ金沢動物園。憧れの動物園と公園での裏方の仕事でした。

この総合公園には大型遊具やハイキング道、バーベキュー場、多数のトイレや動物舎など数々の施設があり、その修繕に奔走する日々でした。

しかし、同時に公園班や先輩職員と一緒に、来園されるお客様が何度きても楽しめるにはどうしたら良いか考えながら管理をしていく日々でもありました。

四季の美しさ

園内にはホタル舞う自然風の流れや、季節の花々が美しい散策路など様々な緑があったので、魅力アップのために、ホタルにダメージを与えない流れの浚渫や、県の花ヤマユリを増やす環境づくりをしたり、根が詰まり、花が咲かなくなったスイセンを掘り起こして分球し、あちこちに植えて咲かせたりと、様々なことを経験させて頂き大変勉強になりました。

仕事を始めた当初の私は、桜とチューリップ、ヒマワリ位しか植物を知らない始末でしたが、園内を走り回るうちに、新芽の若草色と山桜の淡いピンクが織りなす春の山の美しさや、朝の光に映える緑の美しさを知り、春夏秋冬それぞれの季節ごとに美しい景色をつくりだす植物の魅力に気付かされました。

造る楽しさ

その後、現在の公園緑地整備課へ異動となり、管理の仕事から公園緑地をつくる仕事に携わることとなりました。

当たり前ですが、公園になる前は荒地や山…。そこをどんな公園にするか考え、地域住民の方と共有しながら実際のカタチにするまでの労力の大きさにビックリしました。しかし、工事現場で造園業者さんに教わり、相談しながら一緒になってものをつくっていく過程はとても楽しいもので、工事が始まる度に本当にワクワクします。

そんな中、横浜赤レンガ倉庫のそばの緑地を植栽する機会に恵まれました。その緑地は元々、赤レンガ倉庫が見通せ、大きく広がる空が気持ちよい空間だったのですが、さらに良い空間にするためにはどんな緑が良いか考えて進めました。

大掛かりな施設は整備せず、花や周りの景色を美しく見せるためにちょっとした地形の変化をつくって、風にそよぐ低木や宿根草を園路からの景色の見え方を意識しながら植栽してもらいました。

素敵な緑の空間

完成後半年が経ち、小さかった植物が成長し、私の想像を超えた姿で、季節ごとに赤レンガ倉庫を美しく魅せてくれています。付近を訪れる多くの方がこの緑地内を通るようになり、写真を撮ったり、ひと休みしたり、スケッチをしたりなどと楽しげに過ごす方も多く見られるようになりました。市民の皆様に喜んで頂ける緑の空間ができたことを嬉しく思うのとともに、改めて「みどりのもつ可能性の大きさ」を感じずにはいられません。

子どもの頃の楽しい思い出は、緑に魅せられた先輩方や造園業者の皆様が心をこめてつくってくれた緑の空間のおかげだったのだと、今なら分かります。みどりの可能性を実感したいま、今度は私が市民の皆様に少しでも素敵な緑の空間をお届けできるよう頑張っていきたいと思います。

みどりの可能性を実感

新港中央広場（夏）

よこはま花と緑のスプリングフェア2014「花壇展」開催

よこはま花と緑のスプリングフェア2014「花壇展」が、当協会員20社と横浜農業協同組合にご協力いただき、4月11日から5月6日の26日間山下公園で開催された。

噴水近くの芝生広場の、通路を挟んだ両側に色彩豊かな花壇を来場者に味わっていただいた。

堆肥詰め放題のイベント、花と緑の園芸店、庭木、庭づくり相談コーナー、押し花しおりとコースターづくりコーナーは盛況だった。

コンクール褒章授与式は4月25日に開催された。

コンクール結果

●横浜市長賞
石山造園㈱
「高原の花園」

●横浜市会議長賞
㈱きたむら園
「春のいずみ」

●横浜市環境創造局長賞・市民賞
㈱牧野造園
「花のメロディー
～美しい人生よ～」

●公益財団法人横浜市緑の協会理事長賞
櫻井造園土木㈱
「トロピカルヨコハマ」

●神奈川新聞社賞
㈱杉本造園
「宇宙空間の創造」

●みどりアップ奨励賞
川原造園㈱
「Pop Up Flower」

出展協力社（受賞者を除く）

岩崎造園㈱・㈱泰山園・日光緑化建設㈱・㈲関水商事・㈱みやした園芸・早坂緑化㈱・㈱環境造園・生駒植木㈱・㈱横浜緑化・㈲緑生園・横浜農業協同組合・㈱倉本造園・井原造園㈱・㈱石正造園土木・㈱港南北見緑化

花壇コンクール褒賞授与式

横浜市長賞

瀬谷区道路祭り2014に出展協力

8月2日瀬谷区北口広場に於いて瀬谷区役所主催の瀬谷道路まつり2014に当協会瀬谷区の会員6社が出展協力をした。

開催趣旨

道路を利用している皆様に、道路にふれあい、道路の役割及び重要性を再確認してもらい、道路愛護の思想の普及及び道路の正しい利用の啓発を図り、安全で美しく利用する気運を高めていただくことを目的に行われた。

このイベントを通じ、私たち造園の仕事を紹介するとともに、当協会の紹介及びPR・花と緑の街づくりに関する啓発等を図った。

終わりの言の葉

横造協だよりには「樹木に魅せられて」というコーナーがあります。かくいう私も樹木に魅せられている一人です。

最近は、オージープランツ（オーストラリア原産の樹木）にとても興味があり収集し楽しんでいます。

現在では色々な種類が国内生産されており、グレヴィレアやバンクシア・カンガルーポー等、聞きなれない名前ばかりだとは思いますが、花にも特徴がありとても綺麗です。

園芸店などで見つけたら是非手に取ってみてください。

切花やハーブなどにも使用され、皆様の周りにも意外と身近にあるかも知れません。

（広報委員会　K）

訃報

岸平作氏（10月1日）
㈱貝塚造園
代表取締役　岸純一氏
ご尊父

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。